

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	36
----------	----

年月日	2023 年 3 月 27 日 (月)
大会名	令和4年度 第46回全国高等学校ハンドボール選抜大会 Presented by MIZUNO

公 式 記 録 用 紙

A	県立香川中央高等学校										昭和学院高等学校										B
都道府県 三重県		市町村 津市				会場 サオリーナ メインAコート										回戦 準々決勝					
前半	A 16	B 12	最終 結果	A 33	B 29	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m追加 コラット	A	B							
7m得点/総数		A 1/1	チームタイムアウト									チームタイムアウト			B 2/3	7m得点/総数					
		1	2	3							1	2 後	3								
		2128									2522	2342									

No.	香川中央	G	W	2'	D	DR	No.	昭和学院	G	W	2'	D	DR
1	久保 健太						1	土居 輝久					
2	上野 航瑠	1					2	大熊 悠友	6				
3	高尾 勇羽	10		2			3	西谷 秀義	1				
4	西川 暁生						4	石丸 瑛大	10	1			
5	大谷 心太						5	田村 伊織					
6	佐藤 恭靖	2					6	木村 恵士	5				
7	延原 煌太						7	北川 大智	5				
8	間島 魁琉	6					8	小沼 徹平	2				
9	松原 瑞樹	2		1			9	伊藤 拓斗					
10 c	中嶋 優翔	7					10	吉田 湊人					
11	太田 翔也	3					11	篠塚 龍ジーン					
12	星島 颯太						12 c	大木 星蓮					
13	岡 永湧						13	下平 航太					
14	芳崎 祐太						15	渋谷 快青					
15	相山 波瑠						16	北村 一樹					
16	川田 真吾	2					17	古川 龍生					
監督A	田中 潤						監督A	池畑 大					
役員B	藤本 直人						役員B	八重盛 公英					
役員C	木村 琉空						役員C	三浦 千紗子					
役員D	四宮 涼楓						役員D	岩佐 海来					

A	チーム役員A署名										B
---	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

特記事項

レフェリー	牛島 卓也	脇 大典		
TD	米倉 拓己	加藤 智史		
MO	吉田 正明			

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

赤は直接入力→

試合 番号	36	男子 [③]
----------	----	-------------

令和4年度 第46回全国高等学校ハンドボール選抜大会
Presented by MIZUNO

試合結果・戦評報告書

競技日	3月27日 (月)	会場	サオリーナ メインAコート		
種別	男子	回戦	準決勝		
Aチーム名			Bチーム名		
県立香川中央高等学校			昭和学院高等学校		
得点合計	小計	period	小計	得点合計	
33	16	前半	12	29	
	17	後半	17		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			
戦評		記載者氏名	村上 真司		
<p>男子準々決勝第3試合は香川中央のスローオフで始まり、昭和学院No.2大熊のミドルシュートで先制した。序盤は互いに大きなリードを許さなかったが、香川中央は、7分25秒に今大会チーム最高得点のNo.3高尾がミドルシュートを決めると、守りからの速攻で2連取し6対4とリードを奪った。10分48秒、香川中央が1人退場となったところで昭和学院No.4石丸がカットインからのシュートで2点連取し、さらにステップシュートを決めて8対8の同点となった。その後、香川中央No.11太田がサイドシュートを決めると、速攻を絡めて4点を連取し、前半は16対12で香川中央がリードして折り返した。後半は昭和学院No.2大熊のスカイプレーからの得点で始まった。すぐさま香川中央No.8間島がロングシュートを決め、その後は一進一退の攻防が続いた。香川中央は21分41秒に退場となったが1失点で抑えつつ、No.8間島、No.10中嶋のカットインからのシュートで2得点したところで昭和学院はチームタイムアウトをとった。セットプレーを試みるも得点には繋がらず、香川中央に得点を与えることとなった。終盤、昭和学院も粘りをみせて3連取するも香川中央が33対29で準決勝に進出した。</p>					